

# グローバル・バランス型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

## 運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

## 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	13,504,833	98.4%
現預金・その他	219,344	1.6%
合計	13,724,177	100.0%

## 運用状況

2009年7月のグローバル株式市場は、MSCI KOKUSAI (現地通貨ベース)で8.07%の上昇となりました。大手企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を背景に、景気底入れ期待が高まり上昇しました。グローバル債券市場は、Citigroup WGBI (現地通貨ベース)で0.68%の上昇となりました。3.5%台前半で始まった米10年国債利回りは、予想を下回る米雇用統計を受けて一時3.3%台前半まで低下しましたが、中旬には予想を上回る企業決算の発表を受けて一時3.6%台後半まで上昇し、最終的には3.4%後半で7月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.53%上昇しました。

7月は資金流入に合わせて「グローバル成長株ファンド」の購入と資金流出に合わせて「グローバル・ボンド・ファンドVA」の売却を行いました。

8月についても、内外株式部分については「RIC II World Equity Fund」および「グローバル成長株ファンド」を、内外公社債部分については「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」を継続して保有する方針です。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

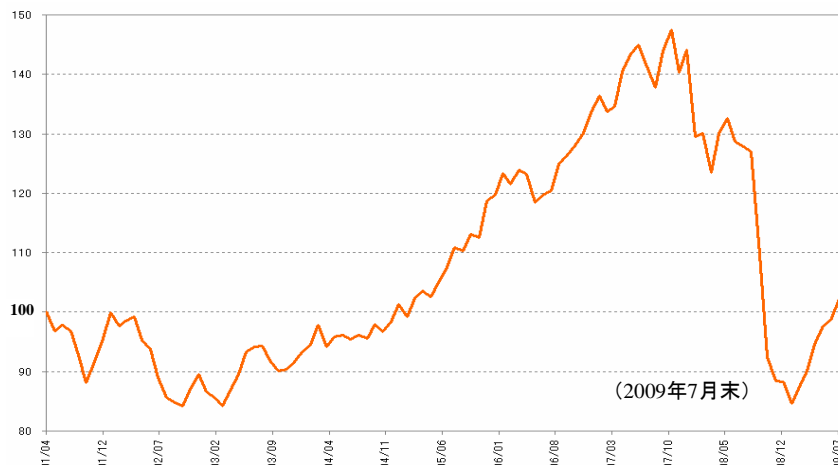
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
102.13379779	+3.53%	+7.98%	+20.69%	▲20.11%	▲15.14%	+6.21%	+2.13%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



## ポートフォリオの状況

### [基本配分]

国内外株式 50%
国内外公社債 50%

### [組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (22.3%) : p22上段
グローバル成長株ファンド (27.2%) : p22下段
RIC Global Bond Fund (21.7%) : p23上段
グローバル・ボンド・ファンドVA (27.2%) : p23下段
現預金・その他 (1.6%)

(注)「p22上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。